

- 問1

市場経済において、少数の大企業が市場を支配したり、企業どうしが話し合って価格を協定したりする行為は、消費者の利益を損なう原因となります。こうした行為を禁止し、市場における公正で自由な競争を促進するために制定された法律を選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 不当景品類及び不当表示防止法

2. 製造物責任法（PL法）

3. 消費者基本法

4. 独占禁止法
- 問2

地方自治において、住民が署名を集めて条例の制定や改廃を求める「直接請求権」などの仕組みが設けられている理由として、最も適切なものはどれか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 選挙で選ばれた代表者のみにすべての政治判断を委ねることで、専門的かつ効率的な行政運営を維持するため。

2. 住民の署名が集まれば、議会での審議や首長の承認を経ることなく、即座に新しい決まりを施行できるようにするため。

3. 国の政治においても同様の直接請求ができるよう、地方自治体でその運用方法を事前に練習しておくため。

4. 身近な地域の課題に対して住民が直接参加し、自らの意思を反映させることで、民主主義の原点を学ぶ機会とするため。
- 問3

オーストラリアにおいて、1960年代半ばから2000年代初頭にかけて、ヨーロッパからの移民が100万人以上減少する一方で、アジアからの移民が2倍以上に増加した背景にある制度や考え方の変化として、最も適切なものはどれか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）

1. アジア諸国との間で経済連携協定が結ばれたため、ヨーロッパ系住民の市民権をすべて剥奪した。

2. 白人以外の移住を制限する白豪主義が撤廃され、異なる文化を尊重し合う多文化主義へと転換した。

3. アジア地域からの難民のみを受け入れ対象とする、新しい人道支援制度を創設した。

4. 深刻な労働力不足を解消するために、ヨーロッパからの移民受け入れを法律で全面的に禁止した。
- 問4

教育、科学、文化の発展を通じて国際的な協力を進めることを目的とした国際連合の専門機関のうち、世界の貴重な自然や文化財を保護・保存する「世界遺産条約」を提案した組織の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. ユニセフ（国際連合児童基金）

2. ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）

3. UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）

4. WHO（世界保健機関）
- 問5

温州みかんの生産量で全国1位の和歌山県や、それに続く愛媛県、静岡県といった地域に共通する、みかんの栽培に適した自然条件や地形の工夫として最も適切なものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 稲作が困難なほど降水量が少ないため、灌漑設備を整えた広大な平野を利用している

2. 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している

3. 冷涼な気候を好み、昼夜の温度差が激しい標高の高い火山灰土の高原を利用している

4. 冬の寒さが厳しく、病害虫の発生を抑えられる降雪量の多い地域を利用している
- 問6

南アフリカ共和国で1990年代初頭まで行われていた、アパルトヘイト（人種隔離政策）と呼ばれる制度の背景とその後の動向について述べた文として、正しいものを選択してください。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 少数の白人が、黒人など多数の人種を差別・隔離する制度であったが、マンデラ氏らの運動や国際的な批判により廃止された。

2. ヨーロッパ諸国による植民地支配から脱却するために、アフリカの人々が団結して抵抗を行うことを目的とした思想であった。

3. 特定の農産物の輸出のみに頼るモノカルチャー経済から脱却するため、工業化を強制的に進めるための制度であった。

4. 独立後に発生した多部族間の武力衝突を抑えるために、特定の地域への居住を制限した治安維持のための制度であった。
- 問7

「正長元年（1428年）より以前の借金はずべて返さなくてよい」という趣旨の言葉が当時の石碑などに刻まれている資料があります。このような要求を掲げて農民らが団結し、実力行使に及んだ背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 貨幣経済の浸透により、農民が土倉などの高利貸しから借金をして苦しんでいたため

2. 太閤検地によって厳しく土地を調査され、重い年貢を課せられるようになったため

3. 幕府がキリスト教を禁止し、信者である農民たちに激しい弾圧を加えたため

4. 元寇による軍役の負担が重く、恩賞も十分に与えられなかったため
- 問8

大正時代の都市生活の変化や文化について説明した資料において、近代的な通信手段が普及した背景やその特徴を述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 江戸時代から続く飛脚の組合組織がそのまま維持され、地域ごとに異なる料金体系で運営された

2. 電話が全世帯に普及したため、手紙による通信は都市部の富裕層のみに限定されるようになった

3. 政府が直接管理する仕組みを整え、全国一律の料金で誰もが利用できる公的な仕組みを構築した

4. 飛脚（ひきやく）が馬や鉄道を民間の力だけで活用し、配送スピードを飛躍的に向上させた
- 問9

現代の地方自治では、行政によるサービスだけでなく、住民自身による自発的な社会貢献活動が大きな役割を果たしています。福祉、環境、まちづくりなどの分野において、営利を目的とせず活動し、社会的な課題の解決を目指す組織を何と呼びますか。国際的に活動する非政府組織（NGO）との違いに注意して選びなさい。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. NPO（非営利組織）

2. 労働組合

3. 株式会社

4. 生活協同組合
- 問10

1543年にポルトガル人を乗せた船が現在の鹿児島県にある島に漂着し、日本に初めて火縄銃が伝えられました。この出来事がその後の戦国時代の戦い方に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 接近戦を防ぐために、城の石垣をあえて低く築くようになった。

2. 足軽などの歩兵による集団戦法が重視されるようになった。

3. 弓矢が全く使われなくなり、すべての兵士が銃を装備した。

4. 騎馬武者同士による一騎打ちが戦いの中心となった。
- 問11

西アジア地域の自然環境や産業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 北極点に近い高緯度地域であるため、一年中氷に覆われた寒冷な気候を利用した水産業が中心である。

2. 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、年間を通じて降水量が多く、古くから稲作が盛んである。

3. 大部分が乾燥帯に属して砂漠や草原が広がっており、石油などのエネルギー資源が豊富に産出される。

4. 多くの島々からなる地域であり、熱帯雨林気候を活かした天然ゴムやバナナのプランテーション農業が行われている。
- 問12

日本の農地制度の変化について、1941年には全耕地のうち小作地が約5割を占めていましたが、1950年には自作地が全体の約9割を占めるまでに激増しました。このような急激な変化をもたらした改革の内容と結果として適切なものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 海外からの安価な農産物の流入を防ぐため、政府が農家に対して土地の購入費用を全額補助した。

2. 政府が地主から土地を買い上げて小作人に売り渡した結果、自作農が急増し、農村の民主化が進んだ。

3. 小作料の引き下げを命じる法律が施行された結果、地主が土地を手放し、自発的に自作農へと転換した。

4. 戦時中の食糧不足を解消するために政府が農地をすべて管理し、戦後にそのまま小作人に分配した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 独占禁止法	本来、商品の価格は市場での需要と供給のバランスによって決まりますが、企業が独断や合意によって価格を操作すると、競争が働かなくなり価格が高止まりしてしまいます。この法律は、カルテルなどの不正な取引を制限し、企業間の健全な競争を維持することで消費者の利益を守る役割を担っています。
問2	答え 4 身近な地域の課題に対して住民が直接参加し、自らの意思を反映させることで、民主主義の原点を学ぶ機会とするため。	地方自治は、住民が自分たちの地域の課題を自ら考え、解決していく過程を通じて民主主義の仕組みを学ぶことができるため、「民主主義の学校」と呼ばれています。選挙によって代表者を選ぶ「間接民主制（代議制）」を基本としながらも、直接請求権のような住民が直接参加できる仕組みを組み合わせることで、よりきめ細かく住民の意思を政治に反映させることが目的です。
問3	答え 2 白人以外の移住を制限する白豪主義が撤廃され、異なる文化を尊重し合う多文化主義へと転換した。	オーストラリアはかつて「白豪主義」と呼ばれる、白人以外の移民を制限する政策をとっていました。しかし、1970年代にこの政策が完全に廃止され、多様な民族の文化を認め合う「多文化主義」へと移行しました。この政策転換により、ヨーロッパ中心だった移民の受け入れが、地理的に近いアジアなどの近隣地域へと拡大し、人口構成の多様化が進みました。
問4	答え 2 ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）	国際連合の専門機関は、それぞれ特定分野で活動しています。文化や教育、科学を通じて平和に貢献することを目指すユネスコは、人類共通の財産を守るための世界遺産条約を採択し、その登録や保護の支援を担っています。これに対し、ユニセフは子供の権利保護、WHOは保健衛生の向上を主な活動目的としています。
問5	答え 2 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している	みかんは温暖な気候を好み、特に成長期に十分な太陽光を浴びることと、根腐れを防ぐために水はけが良いことが栽培の条件となります。和歌山県や愛媛県では、海岸に近い山の斜面を階段状に切り拓いた段々畑をすることで、効率よく日光を当て、余分な水分が自然に流れ落ちるように工夫されています。
問6	答え 1 少数の白人が、黒人など多数の人種を差別・隔離する制度であったが、マンデラ氏らの運動や国際的な批判により廃止された。	アパルトヘイトは、少数の白人支配層が多数の黒人やその他の人種を、居住地や施設、教育などの面で厳格に差別・隔離した非道な政策です。これに対し、ネルソン・マンデラ氏を中心とする抵抗運動が展開され、国際社会からの経済制裁も加わって、1991年に廃止されました。1994年には全人種が参加する初の総選挙が行われ、格差解消に向けた取り組みが続いています。
問7	答え 1 貨幣経済の浸透により、農民が土倉などの高利貸しから借金をして苦しんでいたため	室町時代には農業技術の向上や市場の発展により貨幣経済が広がりましたが、同時に生活に困窮した農民が土倉や酒屋から高い利息で借金をする状況も生まれました。支払いが困難になった農民たちは、団結して「徳政」をスローガンに掲げ、借金の帳消しを求めて一揆を起こしました。なお、太閤検地は安土桃山時代、キリスト教弾圧は江戸時代、元寇の影響による不満は鎌倉時代のことです。
問8	答え 3 政府が直接管理する仕組みを整え、全国一律の料金で誰もが利用できる公的な仕組みを構築した	明治以降、政府は近代国家としての基盤を作るため、情報の伝達を円滑にする通信網の整備を急ぎました。それまでの飛脚に代わり、国が中央集権的に管理する郵便制度を敷いたことで、都市部だけでなく農村部も含めた全国的な情報伝達が安価に可能となり、大正時代の教育の普及や社会の変化を支える重要なインフラとなりました。
問9	答え 1 NPO（非営利組織）	住民が主体となって地域の課題を解決しようとする動きが活発になっており、その中心的な担い手がNPO（非営利組織）です。NPOは「Non-Profit Organization」の略で、営利（利益の配分）を目的とせず、市民の立場から社会貢献活動を行います。似た言葉にNGO（非政府組織）がありますが、一般的にNGOは国際的な活動（貧困支援や環境保護など）を指す際に使われることが多く、国内の地域社会における活動はNPOと呼ばれるのが一般的です。これらは行政と連携しながら、よりきめ細やかなまちづくりに貢献しています。
問10	答え 2 足軽などの歩兵による集団戦法が重視されるようになった。	火縄銃の導入は、それまでの騎馬武者による一騎打ちを中心とした戦いから、組織化された足軽の集団による一斉射撃などの戦術へと変化させました。織田信長が長篠の戦いでこの戦術を効果的に用いたことは有名です。これにより、個人の武勇よりも組織的な運用や物資の調達能力が勝敗を左右するようになりました。
問11	答え 3 大部分が乾燥帯に属して砂漠や草原が広がっており、石油などのエネルギー資源が豊富に産出される。	西アジアの大部分は降水量が少ない乾燥帯であり、オアシス農業や遊牧が伝統的に行われてきました。また、ペルシヤ湾沿岸を中心に世界の原油埋蔵量の多くが集中しており、石油の輸出は地域経済において極めて重要な役割を果たしています。
問12	答え 2 政府が地主から土地を買い上げて小作人に売り渡した結果、自作農が急増し、農村の民主化が進んだ。	統計資料において1941年から1950年にかけて自作地が急増しているのは、農地改革が実施されたためです。戦前の日本は、広大な土地を持つ地主が小作人に土地を貸し出し、高い小作料を徴収する仕組みが一般的でした。しかし、この制度が農村の貧困や軍国主義の温床になったと考えたGHQの指導により、政府が仲介して土地の所有権を移転させました。この結果、耕作者自身が土地を所有する自作農が日本の農業の中心となりました。